

第12回高エネルギー加速器研究機構技術職員シンポジウム(2012.01.11-12)

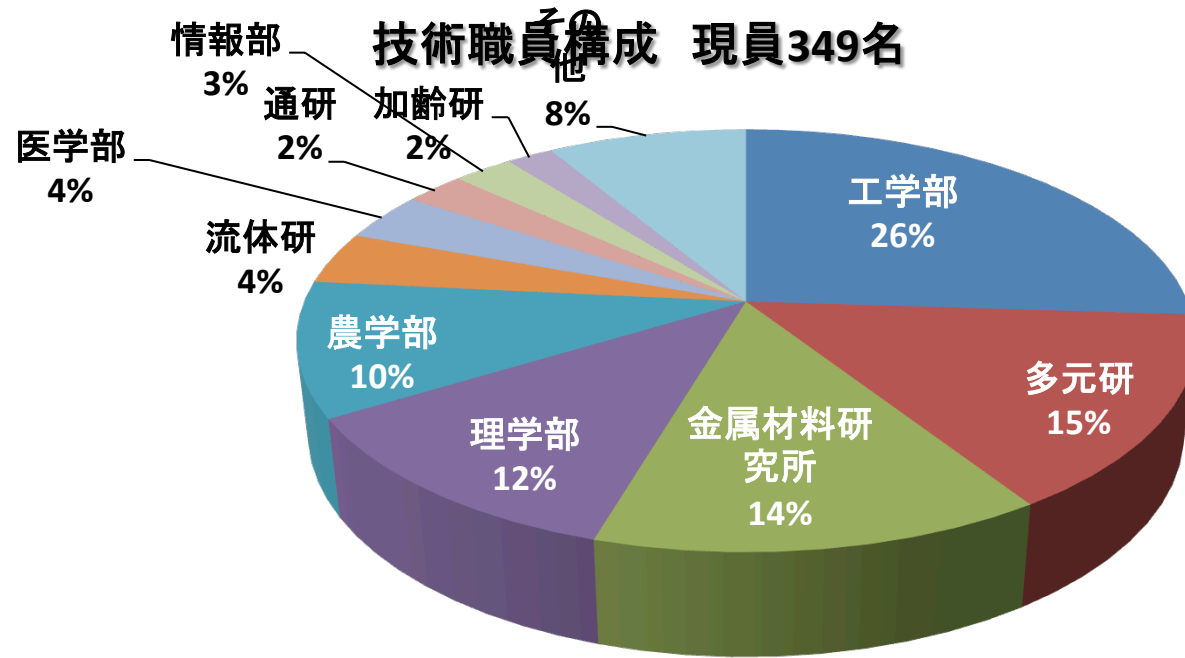
# 東北大学工学部技術部の組織と 法人化以降の取り組み

東北大学工学部・工学研究科 技術部  
系支援班 松崎 隆

# 報告内容

- 東北大学技術職員構成と総合技術部
- 工学部・工学研究科 技術部
- 工学部技術部組織の整備方針 技術部組織
- 組織の特徴
- 法人化(新たな組織化)以降の取り組み
- 今後の検討課題

# 東北大学全体の技術職員構成



工学部	90
多元研	52
金 研	48
理学部	41
農学部	36
流体研	14
医学部	13
通研	9
その他部局・研究所	46
計	349

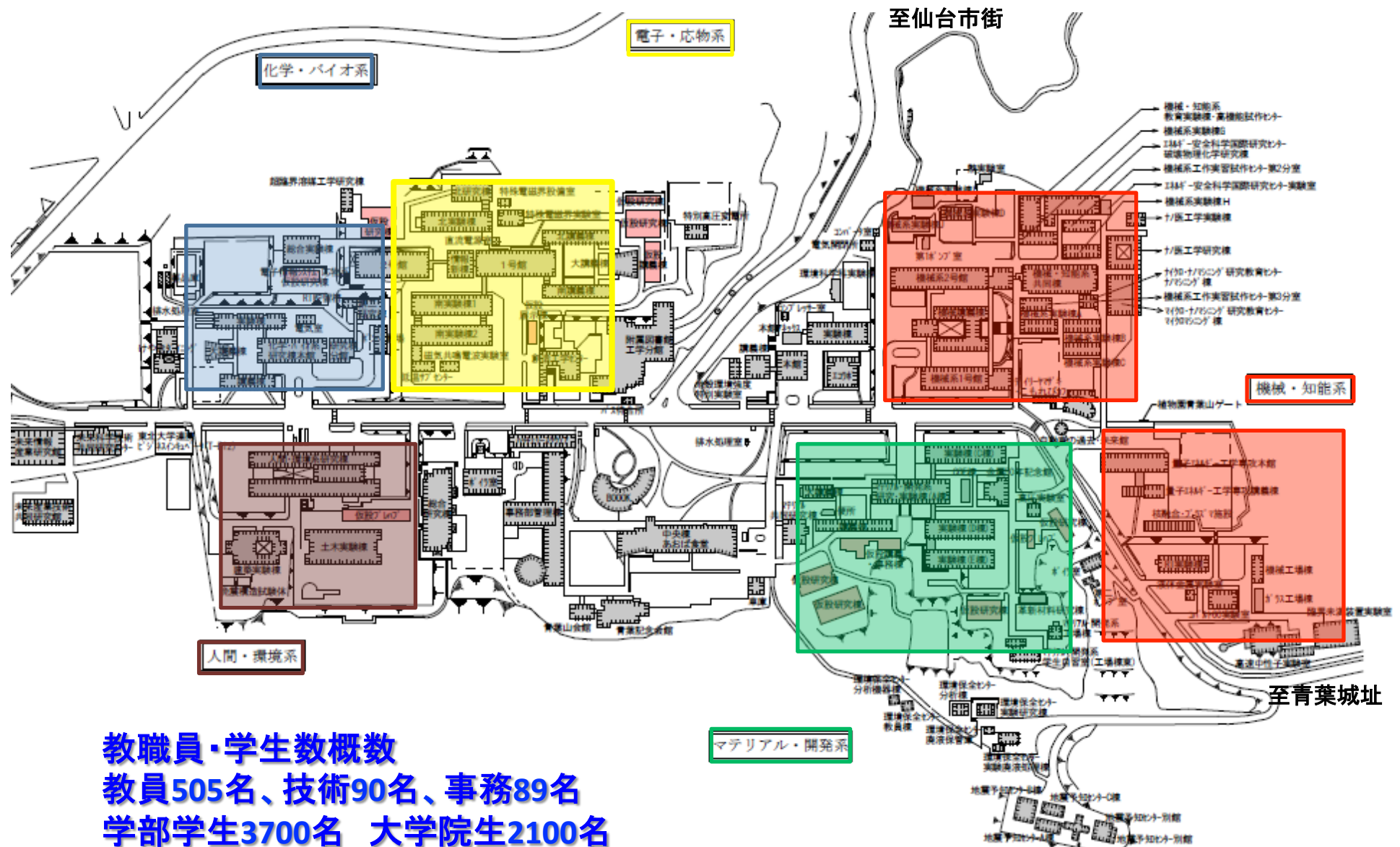
技術職員数 349＋再雇用職員 104 計453名

- H21年3月総合技術部結成 全員、総合技術部へ配置換え  
運営員会（委員長理事、各部局教員18名、技術職員5名で構成）  
人事管理、再雇用一括管理、法人試験採用関係、東北地区研修対応など
- 研修WG, 実務者会議（東北地区研修対応、専門技術研修、電子顕微鏡, ガラス分野別専門研修など企画・運営、技術業務データベース）
- 委員：統括技術専門員5名、各部局から委員会メンバー選出

## 工学部技術部組織化の経緯

- 国大協組織化 形式的技術組織、 H10年 4月 訓令33号による専門官制導入
- H16年2月 臨時教授会で組織化を決定
  - ・技術業務が拡大し、多様化、高度化する中、技術職員は定員削減により減少。
- H16年4月 大学法人化
- H17年4月に工学部技術部発足
  - ・教育・研究・管理に関する業務の効率化・高度化を目指して。
  - ・定年退職人員分は確保する方向。

# 工学部 青葉山キャンパス



**教職員・学生数概数**  
**教員505名、技術90名、事務89名**  
**学部学生3700名 大学院生2100名**

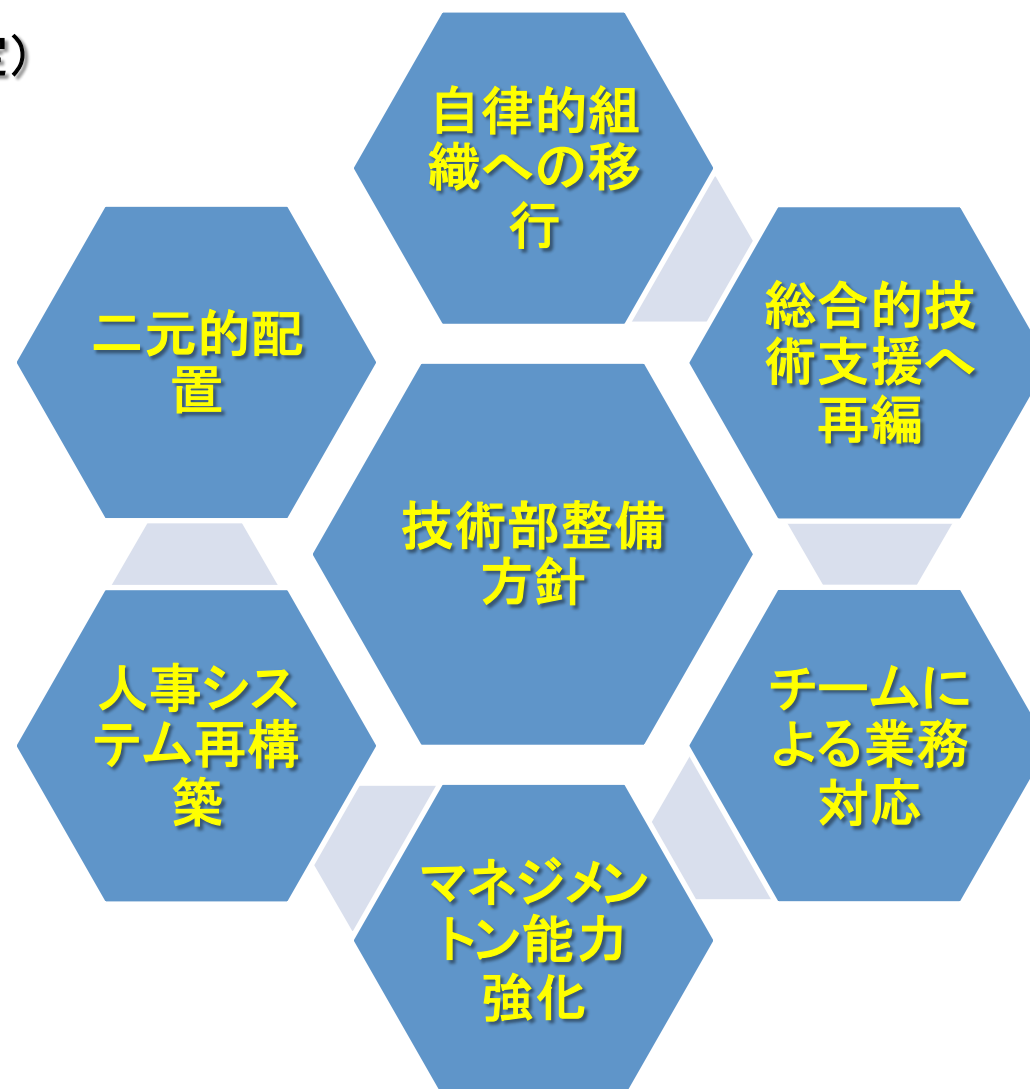
300m

# 工学部技術部 組織化にあたっての整備方針

個々の研究室・専攻から自立した、自己決定権を有する自律的組織への移行をめざす

(H16年2月

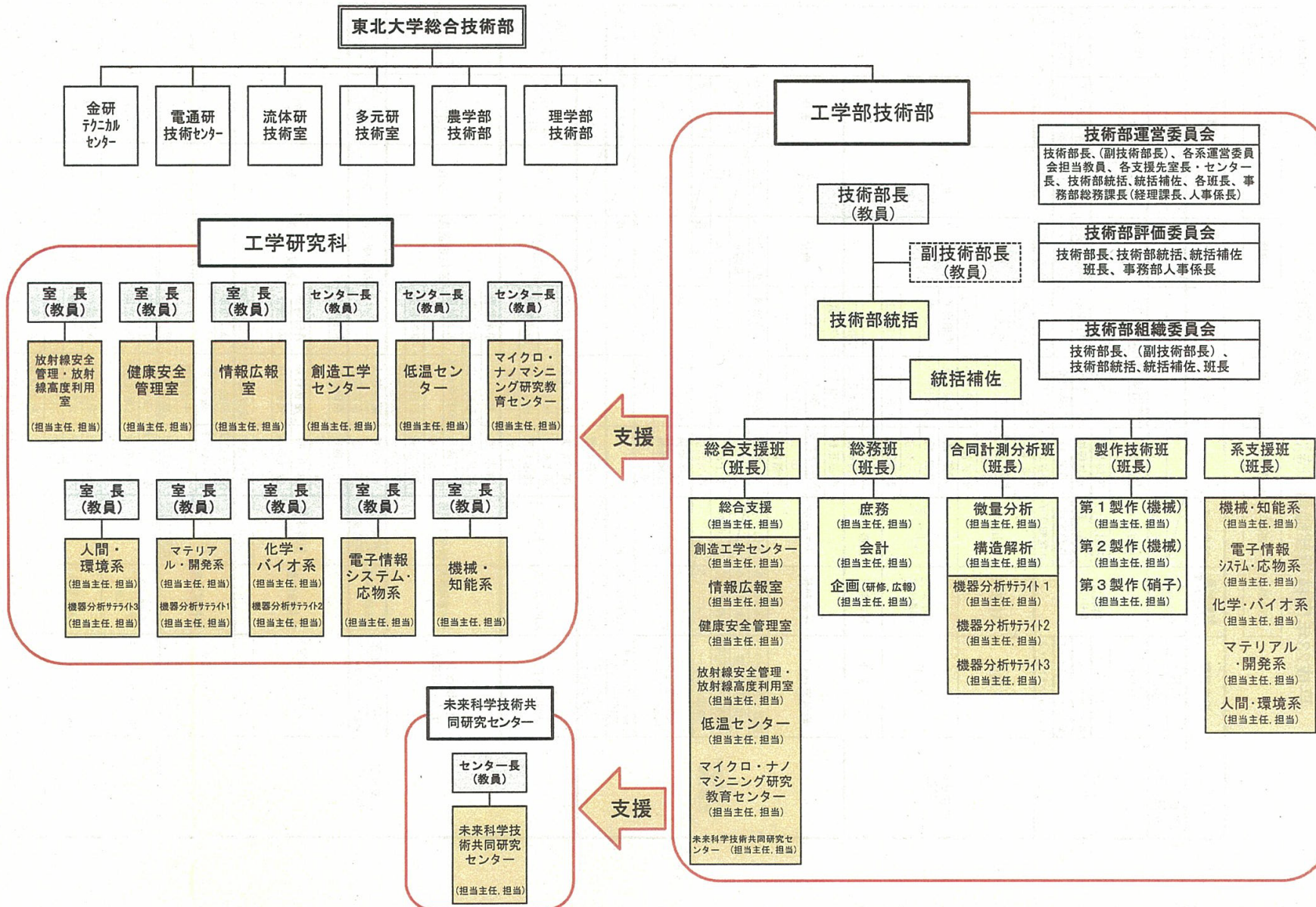
臨時教授会決定)



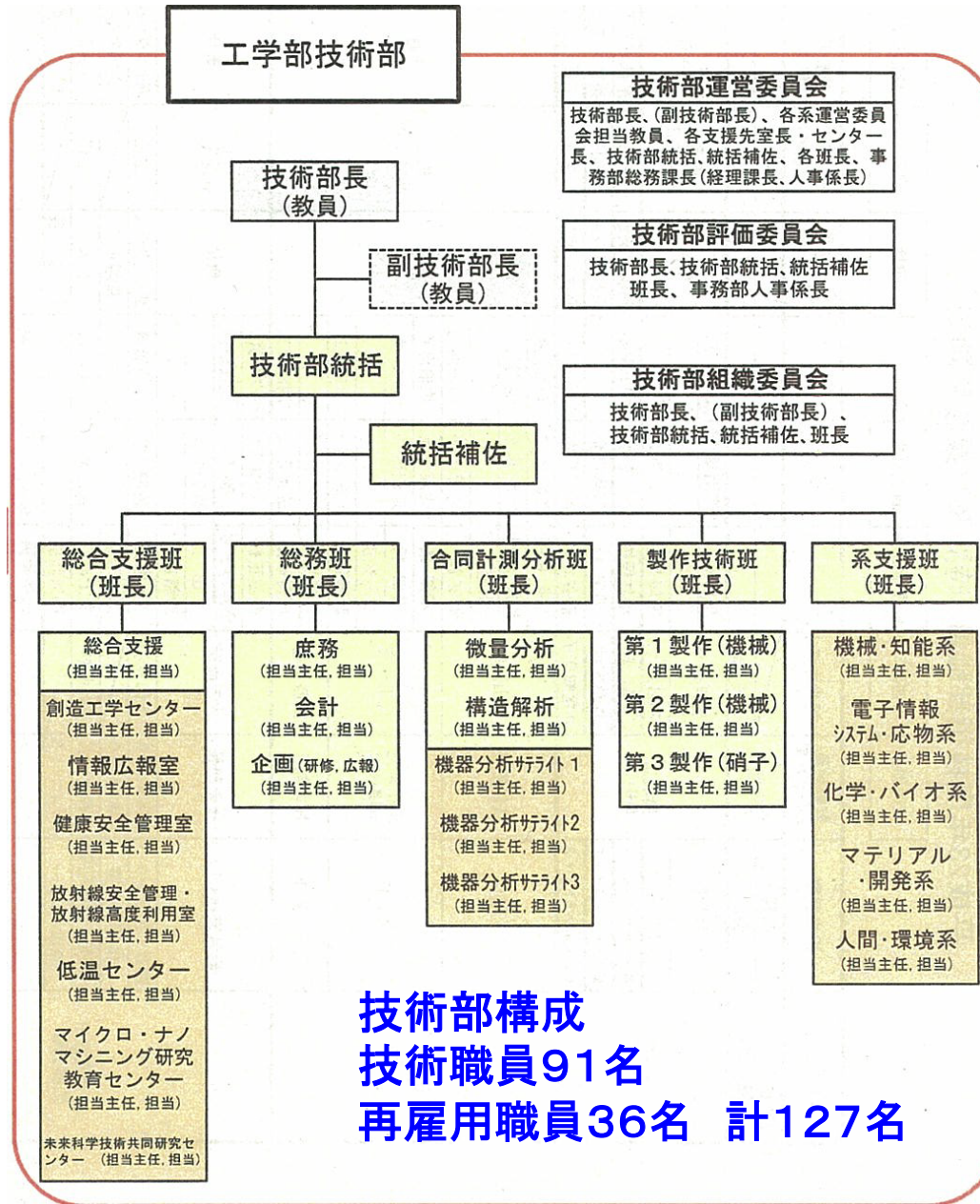


# 他部局・系・学科との関係

H23年度第1回技術部運営委員会 資料2-1



## 工学部・工学研究科 技術部組織図



## 技術部長・系室長は教員



## 二元的配置

### 共通支援業務

#### 合同計測分析班

- ・極微細構造物質解析室
- ・極微量物質分析室

#### 製作技術班

- ・第1製作室(機械加工)
- ・第2製作室(機械加工)
- ・第3製作室(ガラス加工)

### 個別支援業務

#### 系支援班

- ・機械・知能系
- ・電子情報システム・応物系
- ・化学・バイオ系
- ・マテリアル開発系
- ・人間・環境系
  
- ・系分析サテライト1, 2, 3

#### 総合支援班

- ・情報広報室
- ・創造工学センター
- ・健康安全管理室
- ・低温センター
- ・放射線安全管理・高度利用室
- ・マイクロ・ナノ・マシニング研究  
教育センター

総務班———技術部 庶務・会計・企画

# 法人化(組織化)以降の取り組み

## ハード面の変更

製作加工部門の一括管理運営体制および受付窓口一本化  
各系・学科5か所にあった製作工場を一括管理運営

## 計測分析機器の集中化

各系・学科から分析機器を提供・集中化 効率運用

- ①微細構造物質解析室 TEM・SEMなど。
- ②微量物質分析室 TOFMS, SIMSなど。

## 機器分析室の系サテライト体制 (3か所)

マテリアル開発系、バイオ・化学系、人間環境系に  
それぞれ独立して設置して技術部が運営(系の研究が中心)

## 法人化(組織化)以降の取り組み2

### 組織および運営予算確保

- ・法人試験以外に選考採用を実施
- ・設備維持・更新に研究科長戦略的経費への申請
- ・産学連携制度(学術指導制度)の活用 企業からの委託を受けた研究・技術支援制度 委託費用1時間1万以上
- ・科学研究費からの加工製作費、計測分析利用費の支出が可能となった。

### 個人の技術開発・育成

- ・技術開発助成制度 個人25万、グループ50万
- ・技術研究会における優秀技術発表賞
- ・技術指導教員による育成プログラム

## **技術業務を魅力のある職種に！！**

- **研究教育における技術業務の位置づけの明確化、処遇の改善。**
- **研究教育は教員、技術職員、事務職員の協力協同で。**
- **技術職員のキャリアパスを明らかに。**
- **組織固有の技術の蓄積と継承を。**
- **研究や技術の進歩に対応した技術研鑽。**



## 今後の課題

- 見える技術部組織への改善 教員の技術的要求に応える体制
- 機器・装置の維持管理費、老朽化した設備の更新や修理費の確保
- 保有する技術の継承と技術向上、工学部ならではの技術開発
- 組織管理運営体制の改善
- 各学科系における技術業務支援体制の検討

- 御静聴ありがとうございます。